

意見・回答要旨

(1) 金沢市行政改革実施計画の取組状況について

No	委員の意見要旨	事務局の回答要旨
1	<p>〔将来負担比率〕に関して</p> <p>目標を大幅に上回って達成しているが、目標値と実績値の乖離が大きい状態が続いており、これでは毎年度目標を高める努力がなされないのではないか。</p>	<p>(財政課長)</p> <p>将来負担比率は国で定める財政健全化指標の一つである。この指標が定められた当初に行政改革実施計画に盛り込んだものであるが、他の比率と異なり将来的な予測が難しかったことから、国が定める早期健全化基準を目標値として採用したものである。</p>
2	<p>〔実質公債費比率〕に関して</p> <p>国の警戒ライン18%のところ市の実績は8.9%と低いが、どのような努力をしているのか。</p>	<p>(財政課長)</p> <p>実質公債費比率については、指標が定められた当初と算定の基準が変更され、都市計画税のうち市債の償還に充当する額は算定から除くこととなった。そのため、算定基準の変更前は16%台であったが現在は8%台となっている。加えて、中期財政計画に基づき繰上償還等を実施し健全な水準を維持するよう努力している。</p> <p>(丸口副市長)</p> <p>補足であるが、本市は都市のインフラ整備は類似都市の1.4～1.5倍の水準となっており、そのため、市の借金が非常に少ないというわけではないが、地方交付税による補填など、償還時に収入が確保されるような、なるべく有利な市債を選別して借り入れるなど工夫し、実質公債費比率を抑制している。</p> <p>それに加え、繰上償還を増やし、借入額を抑制するような予算編成によって借金の残高を減らし、財政の健全性の確保に努めている。</p>

(2) 平成24年度市民行政評価の結果について

① 事務事業評価

No	委員の意見要旨	事務局の回答要旨
1	<p>〔事務事業評価の結果報告〕に関して</p> <p>市民行政評価の中で「廃止」又は「廃止を含めて見直し」とされた事業が予算で検討の末どのような結果になったのか、次回の委員会で報告願いたい。</p>	<p>(行政経営課長)</p> <p>例年第1回目の行政改革推進委員会において各事業の予算と共に結果報告をしているが、今回はより明確に分かりやすくご報告できるよう準備する。</p>
2	<p>〔市民意見募集〕に関して</p> <p>募集期間1ヶ月の割に応募件数が少ないのではないかと。もう少し意見を増やす努力や市民の関心を啓発するような方法はないものか。</p> <p>問題は市民の行政への無関心さである。様々な年齢や立場の市民から多くの意見を得るため、例えば、意見応募者が何らかのメリットを得られる仕組みにするなど、意見数を増やす工夫が必要ではないか。</p> <p>市民行政評価委員会の委員が市民の公平な意見をもとに意欲的な審議・評価を行えるようにする努力が必要である。</p>	<p>(行政経営課長)</p> <p>全体として意見が少ない点は否めないが、事業1件あたりの意見数は少しずつ増えている。広く周知を図るため意見募集チラシの設置場所について、昨年度は図書館、今年度は地区公民館、と拡大を図っている。そのほか、新聞やインターネットでも広報に努めている。</p>
3	<p>〔事務事業評価のテーマ〕に関して</p> <p>今年度の市民行政評価の対象事業の中には政策的なものも多かった。都市の経営に関する施策を評価のテーマとする考えがあるか。</p>	<p>(行政経営課長)</p> <p>即答は難しいが、ご意見を参考にしながら今後検討していきたい。</p>

② 指定管理者の管理運営状況に関する評価

No	委員の意見要旨	事務局の回答要旨
1	<p>〔指定管理者制度〕に関して</p> <p>指定管理者の支出経費の財源や積算はどうなっているのか。</p>	<p>(行政経営課長)</p> <p>各施設の所管課が予算を要求し委託料として支払っている。施設の大小により必要経費が異なるため、予算査定の中でそれぞれの施設ごとに経費を積算している。</p>

(3) 今後の行政改革の取組みについて

No	委員の意見要旨	事務局の回答要旨
1	<p>〔第5次行政改革大綱の振り返り〕に関して</p> <p>骨子の審議の際には、実施計画の進捗報告だけではなく行政改革大綱全体の取組状況について振り返りが必要である。</p>	<p>(行政経営課長)</p> <p>次期行政改革大綱の策定にあたっては、その点も鑑みていきたい。</p>
2 (1)	<p>〔次期行政改革大綱の推進期間〕に関して</p> <p>次期行政改革大綱はどのくらいの期間で考えているか。</p> <p>期間が長いと状況の変化に対応できないし、短かすぎても計画を立てる意味がない。適切な期間について検討いただきたい。</p> <p>社会情勢がめまぐるしく変化する中で5年は長いと思う。3年程度のスパンで事業を達成する形が良いのではないか。</p>	<p>(行政経営課長)</p> <p>今のところ現行どおり5年間で考えているが、委員のご意見も参考にしながら十分検討していきたい。</p> <p>(総務局長)</p> <p>行政改革とは他都市と同じことを行うものではないが、財政的なテーマ以外にも様々な要素を付加できないかと考えており、委員の皆様からいただいたご提案についても検討していきたい。</p> <p>期間については、5年間で実施しなければならないという決まりはないので、何年が良いのかということも含めて検討し、次期の大綱を定めていきたい。</p> <p>社会保障費が増嵩し、税収に多くを見込めない中で、行政改革を進めていくためにタイムリーな内容は何か、今後、内容を詰めていきたい。</p>